



高齢者の介護と人権について、ともに考えてみませんか

「認知症の人の人権と介護の視点」

介護保険が導入されて10年。これからの介護は認知症の人の介護を抜きには考えられません。認知症の捉え方なども日々変化しています。このことも含め、一人ひとりの人権を大切にす
る介護・ケアの在り方について、ともに学習を深めたいと思います。

日時 2009年12月5日(土)

午後1時30分～4時 (受付は午後1時より)

会場 岡山市勤労者福祉センター5階 体育集会室

岡山市北区春日町5-6 TEL086-233-8311

☆ 市役所前バス停、大学病院前バス停、大学病院筋バス停から徒歩
で約5分です。駐車場は約25台分、受け付けで証明を受けると
1時間は無料、あとは1時間300円程度かかります。
なるべく公共交通機関をご利用ください。



参加資料費 1,000円

主催 NPO法人 地域人権みんなの会

助成 岡山市(予定)

講演

「日常のケアに生かす 回想法」

鈴木正典先生 (出雲市民病院・医師)

鈴木先生は1995年、研修のために訪れたオーストラリア、アデレードのドゥホスピスで、牧師、医師、看護師、MSWなどすべてのスタッフが、患者の歩んできた道に最大の敬意を払いながら、患者の話にひたすら耳を傾ける姿に心を動かされました。そうした姿勢が、患者が自分の人生を肯定し、自分なりに満足して生の終わりを迎える手助けになることを感じ取ったからです。ドゥホスピスでの体験が、診療の場で回想法を実践する契機になりました。

鈴木先生はいま、診療の場を超えて、一人ぼっちの高齢者をつくらないため、婦人会や老人会などに出かけ、元気な人たちにも回想法の手法を伝授しています。

介護現場からの報告

小規模多機能型居宅介護事業所の現場より
グループホームの現場より

回想法の効果

(先生のメディカルエッセイより)

個人、内面への効果として人生の連続性と統合化、自己の再評価、個性の再認識、確信を生み出す、訪れる死のサインに伴う不安を和らげる、自尊心を高めるなどがある。社会的には、対人関係の進展を促す、発語回数の増加、表情などの非言語的表現が豊かになる。一方介護にあたる職員への効果も大きい。高齢者の人生への関心と敬意を生み出す、ケアプランの充実、などが考えられる。

連絡先 地域人権みんなの会 岡山市北区下伊福西町1-53

TEL086-253-2611 TEL086-254-9555(担当 中島・田中)